第二世代 詐欺脆弱性診断アプリ

詐欺の手口を知るだけでなく、自分の判断の傾向を知る

詐欺から身を守る第一歩は、「自分は大丈夫」と思い込まず、どのような状況で判断が揺らぎやすいかを知ることです。青森大学の研究成果を活用した「第二世代 詐欺脆弱性診断アプリ」で、ご自身の判断の傾向を確かめてみませんか。

なぜ、注意していても詐欺被害に遭うのでしょうか

特殊詐欺や SNS を介した詐欺では、犯人が不安や焦り、期待、信頼といった人間の自然な心理を利用します。人は日常生活で、経験や直感に基づいて素早く判断することがあります。この判断方法は普段は役立ちますが、詐欺のように意図的に状況が操作される場面では、不適切な判断につながる場合があります。被害は本人の能力や注意不足だけで説明できるものではありません。

第二世代アプリとは

本アプリは、2017 年度に採択された JST/RISTEX 研究開発プロジェクト「高齢者の詐欺被害を防ぐしなやかな地域連携モデルの研究開発」での取り組みを基礎として、科学研究費助成事業（基盤研究（C）、課題番号 23K02848）による研究を通じて発展させ、最新の特殊詐欺手口(2026 年現在)に対応した第二世代の詐欺脆弱性診断アプリです。

心理学・行動科学の知見を踏まえ、設問への回答から、詐欺に関係する心理的特徴や意思決定の傾向を評価し、**「自分では気づきにくい」**注意点を振り返る機会を提供します。

このアプリでできること

POINT 1：**自分の判断の傾向に気づく**

詐欺の手口を覚えるだけでなく、不安、期待、信頼などが判断に及ぼす影響について考えるきっかけを得られます。

POINT 2：**研究に基づく評価を受ける**

心理学・行動科学の研究成果を基礎とした質問に回答し、詐欺に関係する心理的特徴や判断傾向を確認できます。

POINT 3：**「立ち止まって確認する」行動につなげる**

不審な電話、メール、SNS の連絡などに接したとき、すぐに応じず、家族や公的な相談窓口などに確認する習慣づくりに役立てます。

「自分は大丈夫」から「自分の傾向を知って備える」へ

詐欺の手口は変化し続けています。大切なのは、手口に関する知識に加え、判断を急がせる働きかけに気づき、いったん立ち止まることです。本アプリが、ご自身や大切な方を守るための学びの機会となれば幸いです。

【診断を開始する】（Web アプリが別画面で開きます）

※本アプリは、研究成果に基づく自己理解のためのツールです。将来の詐欺被害の有無を予測したり、被害防止を保証したりするものではありません。

利用規約およびデータの取扱い

本アプリは、青森大学における科学研究費助成事業「社会心理学を応用した詐欺脆弱性判定アプリを用いた詐欺被害予防の研究」（課題番号 23K02848）の研究成果の一部として提供する Web アプリです。以下を確認し、同意のうえご利用ください。

1. 取得する情報と利用目的

設問への回答、診断結果、任意に回答いただく年代・性別等の属性情報を、診断結果の提示、詐欺脆弱性に関する研究、評価方法の改善、学会・論文等での研究成果の公表に利用します。また、研究成果の公表に際しては、本アプリは個人情報を取得していないため統計的に分析します。

2. 個人情報の取扱い

本アプリでは、氏名・住所・電話番号等の直接的な本人識別情報の入力を求めません。ただし、アクセスログ、IP アドレス、Cookie 等の取得の有無は実際のシステム仕様に従います。

取得する情報、保存期間、管理方法、委託先・第三者提供の有無等は、公開前に確認し、別途明示します。自由記述欄がある場合は、氏名、連絡先、パスワード等を入力しないでください。

3. 利用上の注意

診断結果は学術研究に基づく参考情報であり、医療上の診断や、個別の詐欺被害の発生を確実に予測するものではありません。結果だけで重要な金銭的判断を行わず、不審な勧誘や請求については警察・消費生活センター等にご相談ください。通信費用は利用者の負担となります。

4. 責任の範囲

本アプリの提供にあたっては、適切な管理に努めますが、診断結果の正確性、完全性、特定目的への適合性を保証するものではありません。法令上認められる範囲で、利用に伴う損害について責任を負わないものとします。

5. 運用・規約の変更

研究・運用上の必要に応じ、本アプリの内容や提供方法の変更または提供を終了する場合があります。重要な変更については、可能な範囲で本ページにてお知らせします。

6. お問い合わせ

青森大学　研究責任者：澁谷 泰秀

〒030-0949 青森県青森市幸畑 2 丁目 3 番 1 号

E-mail：sibutani@aomori-u.ac.jp